

豊中市議会議員(保守系市民派・無所属)

福岡まさき

平成25年1月後援会事務局発行 市政だより

十二月定例会



行財政改革の徹底と「豊中市の魅力アップ」作戦！

歳入の伸びが見込めない中、急速に進む高齢化による社会保障関係費が重くのしかかります。こうした中で、豊中の将来を担う子ども達への支援や教育関係費については、抑えるのではなくむしろ増額が必要です。

こうしたことから私は、更なる行財政改革による財源確保と豊中の魅力アップに取り組むことで、これからの「都市経営」のモデルとなるべき施策に取り組んでいます。今回は12月議会で取組んだその一部についてご報告します。

「ごみ収集業務」

かねてから私は民間委託比率の拡大(現在40%)と直営車両の3人乗車体制から2人乗車への移行を強く主張してきました。今回、2人乗車体制については実現の見込みとなりました。両方も億単位の経費削減につながり大きな効果が期待できます。これからも行財政改革のスピードアップに努めてまいります。

また、ごみ収集車両の更なる安全対策や民間委託の際の総合評価入札方式の採用を提案し、安全対策については即時取り組み、入札方法についても今後は検討することになりました。

「住宅・環境都市とよなか」

私は、わが街豊中市のイメージアップを図り、「選ばれる都市とよなか」を実現することで、人口減少に歯止めをかけたいと考えています。

まず住宅問題については、市内にある7戸に1戸の空き家、適正な管理が出来ていない老朽危険家屋や空き地対策改善の為に条例制定の必要性を提案しました。また、全庁的連携や各部署の協力の必要性についても要請し、市は実現のための調査研究や協力体制の実現に取り組むことになりました。

また、急速に進展する高齢化をにらんで今後進む公営および公的住宅の建て替えに対し、市民の思いや願いを実現すべく必要な支援施設(子育てや高齢者)等の導入に行政と共に積極的に取り組んでいきます。

都市経営の視点から、私はこうした施策を進めることで、住宅の質の向上や街並み景観の魅力につながると信じ、今後も強く訴えます。豊中で「子どもを産み育てたい、公教育を受けさせたい、安心と安全、文化の香りのもとで住み続けたい」と期待される都市の実現をこれからもめざします。



「新政とよなか」議員団控え室

〒561-8501 豊中市中桜塚3丁目1番1号
TEL 6858-2620(直通) FAX 6852-2384

自宅

〒560-0082 豊中市新千里東町2-7 C27-1109
TEL 6833-7705 FAX 6831-1281

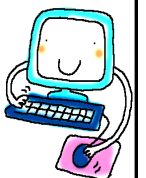
E-mail ximtechs@dab.hi-ho.ne.jp

福岡正輝 ホームページもごらんください

<http://www.fukuokamasaki.com>

日常の活動や政治信条、市政の裏話など報告しています。

また、「市政だより」に掲載出来ない詳細部分はブログで公開しています。



【福岡 まさき】

活動日記

福岡市、大牟田市への視察

11月1～2日に豊中市議会議会運営委員長として各政党内派幹事長とともに、福岡、大牟田両市へ行政視察に出かけました。福岡市では、平成10年から昨年3月までに議会の機能強化や市民の暮らしを守る13件の議員提案条例を成立させました。これまでの議会はややもすると執行機関の議決だけに重点をおいたものとの批判がありましたが、これらの修正や改善、二元代表制本来の姿に立ち返り積極的な政策提言を行うべきとの全国的な傾向を先取りしたものです。

2日は大牟田市を訪れ「大牟田市議会議会基本条例」についての調査・研究です。大牟田市は、かつて三井三池炭鉱が全盛のころ我が国のエネルギー基幹産業の中心として21万人の人口規模を誇っていました。現在では12万人に減少し活気に乏しい中で、市では三つの都市像を掲げ議会ともども頑張っている姿勢が印象的でした。全国1700余りの自治体のうち約300が議会基本条例を制定し議会の機能強化に取り組んでいます。豊中市でもより積極的な議会となるよう議会改革に取り組むべきとの決意に繋がりました。

同窓会でもらった元気…

11月10日、高校の同窓会が生れ故郷の淡路島のホテルで行われた。40年も会ってない友人との再会は感激で日付の変わるのも忘れ話し込んだ。これまでのこと、家族のこと、健康のことなど話題は尽きない。

この国の失われた20年は友人たちにも数々の試練を強いていた。早期退職や倒産にあい苦労を続ける者、病気で苦しみなながらも一生懸命頑張っている者など。そうした中で健康と公僕の仕事を頂き現役を続ける私に「我々の代表としても頑張ってくれ」この言葉に感謝と力が…

毎日の活動をブログ形式で残していますが、その一部を編集してお届けしています。詳しい内容や幅広い活動記録はホームページからご覧下さい。

知財を守る大切さと歴史の皮肉

先日の新聞で新日鉄住金が韓国鉄鋼最大手のポスコを相手とした1000億円に上る損害賠償請求裁判を始めたとの報道があった。

この事件、中国の宝山製鉄所に重要な技術情報を売り渡したポスコ社員が自社から提訴され逮捕されたのだが、「その情報はポスコから盗んだ技術でなく新日鉄から盗んだものだ」と白状したと言うから笑ってしまう。

この裁判の行方については新日鉄の勝訴とともに相手側の反省の弁でも聞きたいものだ。しかし、この会社がしおらしく認めるとは到底思えないのも事実で、竹島や従軍慰安婦問題と同じく何かと難癖をつけ正当化する事は容易に想像がつくのだが……

そういえば1988年ソウルオリンピックの年、日韓交流の役員として子どもたちと大邸(テグ)市を訪れた時、ポスコ(当時は浦項製鉄所)を見学する機会があった。会社の説明で浦項製鉄がいかにもすばらしい世界トップクラスの製鉄所か、その製鉄所を韓国独自の英知と努力で作りに上げたと言われ延々と説明を受けた。しかし、訪問した何人かは、この製鉄所が日韓基本条約により日本と新日鉄の資金、技術援助で完成したことは十分承知していたから残念さは今でも思い出す。日韓基本条約締結のもとをつくったのは岸首相と朴大統領の二人だ。その孫と娘が今回の選挙で日韓のトップリーダーとなったのも歴史の皮肉と言えなくもない。待たれる日韓新時代。



「いろいろブログ」



高齢者問題～縦割り行政に風穴

急速な高齢化が介護や安否確認など、家族や地域団体にとって大きな負担となってきました。私自身も長年の地域活動や民生委員の経験から過重な負担を何とか減らすことができないかと、UR都市機構にも働き掛け安否確認事業の共同実施等にも取り組んできました。しかし、所詮はボランティアのやることですから責任の問題も含め限界を感じながらの活動となっていました。

今回、豊中市では第5期高齢者保健福祉計画に基づく地域密着型サービスの一つとして「定期巡回・随時対応型訪問介護事業者」を公募することになりました。

これまで独自の活動では限界を感じていたUR都市機構が渡りに船？と感じたのか全面的に協力することになりましたが、予定したUR都市機構のある団地は都市計画法上、第1種中高層住居地域にあるため事業所設置については許認可窓口で設置出来ないとの判断でした。UR担当者から相談を受けた私は、縦割り弊害の除去と福祉担当部局の協力も得て法に抵触しない形での設置や厚労省の見解、他市での先進事例等を説明し解決の道が開かれました。

今回の教訓は特定の考えや見方だけでは解決できない問題に風穴をあける貴重なケースとなりました。こうしたことが出来たのも、長年の地域活動や民間での経験、いくつもの関係者から合意形成を導くコンサル経験が大いに役立ちました。安否確認や見守りに24時間対応のプロ集団が加わることで地域活動団体や民生委員の方々のもとより、何よりも重度要介護者やご家族の負担軽減と安心につながればと思います。



・その他には…

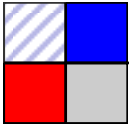
11月3日	建設水道決算委員会から
11月8日	「民生委員推薦会」から
12月3日	「千里消防出張所」建替え
12月24日	今年最後のアドプトロード
12月28日	御用納め

今年の議会活動を振り返って

今年度は所属する会派「新政とよなか議員団」の幹事長として、また、議会運営委員長として議会活動に取り組んでいます。豊中市議会では36名の議員定数のうち1名が欠員で現在は35名となっています。年度初めには議員全員が政党会派に所属(公明9、共産6、新政5、自民4、市民ク4、議会改革4、未来豊中3)し、全議員による活発な議会の運営や改革に取り組めるとの期待がありました。しかし、現在では1名が会派を離脱したため全員参加とはなっていません。また、議会の改革や運営方法については全会派の賛成というのが原則となっているため、どこかの政党や会派が反対すれば変えようもありません。

そうした中、時代の急激な変化や価値観の多様化で市民ニーズも変わってきており、議会に求められる機能や議員自身の役割も変わってきています。今後の議会の課題としては①市民により開かれた議会、②議論の活性化、③市民意思の反映と決定のスピード化など、全国的にも多くの自治体で導入されている議会基本条例の制定が必要です。

①については議会の責任で市民に行う議会報告の方法。②については市理事者に与える反問件の種類と範囲。③については国に提出する意見書などにもみられる全会一致方式からの脱却。などをどう盛り込むかが重要で、制定にあたっては市民の皆様の意見もしっかりお聞きしていきたいと考えています。



《新政とよなか》議員団 市政だより

会派が市に提出した平成25年度施策と予算要望(163項目の一部)

- ◆ 運転手付き公用車は一部を除き廃止する。
- ◆ 市の発注工事および物品購入については、公正な競争を阻害しない範囲で地元事業者の育成・活用をはかること。
- ◆ 同和行政については一般施策として引き続き総合的に見直すこと。
- ◆ 商標登録した「マチカネくん」を市のキャラクターとして広報に最大限活用し、市のイメージアップを図るとともに市内外への発信に努めること。
- ◆ 自衛隊分頓地跡等に於いてスマートシティに代表されるような最新の発想や技術を取り入れ、「住宅・環境都市」豊中のモデルとなる開発を誘導し、市のブランドイメージアップに取り組むこと。
- ◆ 公営及び公的住宅の進めているストック活用や建替え事業については、豊中市民の定住を図るため、高齢者優遇賃貸制度や高齢者施設、子育て機能の併設、多世代同居可能な住宅供給の推進を積極的に働きかけ協議すること。また、耐震対策については早急を実施するよう要望すること。

- ◆ 街路樹の更新と樹種の選定を計画的に進めること。とりわけ千里ニュータウン内については前倒しで実施すること。
- ◆ 高齢者の一人暮らしや引きこもりでの孤独死をなくすため、関係部局と連携をはかり対策を講じること。
- ◆ がん検診を含む市民健康診断の受診率向上には従来手法に、とらわれず受診者に健康保険料の割引等も取り入れ確実に成果をあげること。
- ◆ 子育て・子育て支援政策の構築にあたっては、税配分の公平性・公正性を期し、在宅を含めたすべての子育て家庭への支援施策の実効性を高めること。
- ◆ 大阪国際空港については、その利便性・機能性を生かし、長距離便の復便ならびに国際線の復活を実現することで、関西圏の活性化や豊中のまちづくりにつなげること。
- ◆ 一人ひとりの子供たちの学力を伸ばすため、教科によっては習熟度別にクラスを編成し、個に応じた指導を強く推進すること。



「新政とよなか議員団」とは…

- 民主主義と資本主義経済体制を基本原則とする5人の会派です。
- 豊中を変える政策集団として是々非々の立場で活動しています。
- 特定の政党や利益団体の影響を受けず公平・公正・公開が基本方針です。
- 「政治は結果とスピード」を信条としています。
- 政策を語るだけが政治ではなく、市政に対する影響力と実行力がすべて。

・・言いたい放題・・

先の総選挙は我々にいろんなことを教えてくれた。国民の期待に応えられない政権は権力の座から即刻退場しなければならない。耳触りのいい話や批判だけでは一部の支持しか得られないし国も成り立たない。最大の教訓は自らの地位保全を目的とした人たちには最も厳しい審判が下るということだった。

“民主主義”我が国はこの手間暇、コストのかかる政治制度を採っている。このシステム以外に考えられないのは、世界や近隣諸国の現状を見れば明らかだ。もう少しこの制度に感謝し真の民主主義について考える時ではなかろうか。